様式第３

会　　議　　録

会　議　名	令和８年度 第１回野田市消防委員会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	（１）救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について（諮問） （２）救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について（検討） （３）救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について（答申） （４）令和７年度第１回消防委員会答申内容の進捗状況と課題について（報告） ※全て公開
日　　時	令和８年５月１４日（木） 午前１４時から１５時
場　　所	保健センター　３階第２会議室
出席委員氏名	隈本邦彦（委員長）、菅野透、木名瀬訓光、 伊藤節夫、山本和広、横川栄子、須賀田慶子、 五百川和家恵、石山哲士、本登眞一
欠席委員氏名	深井芳人、廣野喜之、駒崎文男、青木邦夫
事 務 局 等	鈴木有（市長）、藤井正則（次長兼警防課長）、中村剛志（消防総務課長）、秋山和幸（予防課長）、佐塚和昭（消防署長）、米倉一隆（消防署主幹兼副署長）、竹澤裕市（消防総務課長補佐）、湯本一（予防課長補佐）、柳厚志（警防課長補佐）、川田晋司（警防課救急救助係長）、中水隆之（消防総務課庶務係長）、北嶋健太（消防総務課庶務係主事）、小澤怜壱（消防総務課庶務係主事）髙橋優介（消防総務課庶務係主事）
傍　聴　者	２名
議　　事	議事の概要は次のとおりである。 消防総務課長補佐　５月１４日午後１４時、開会を宣言し、

	手持ち資料について確認した。 　会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明し、傍聴者が２名いることを報告した。 　会議録作成のため録音機を使用すること、記録用の写真を撮影することについて了解を得た。 〈市長に挨拶を求める〉 市長〈挨拶〉 消防総務課長補佐　〈委員名簿による消防委員の紹介及び本日の事務局職員の紹介を行う〉 　委員１４名のうち１０名の出席により、野田市消防委員会条例第６条第２項の規定により、会議が成立することについて報告する。 　議事に移るにあたり、野田市消防委員会条例第６条第１項により、委員長に会議の議長をお願いする。 委員長〈挨拶〉 議題１　救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について（諮問） 委員長〈議題１について、諮問を行うため事務局に戻す〉 〈市長から委員長へ救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊についての諮問書が読み上げられ、委員長へ手渡される〉 〈各委員へは諮問書の写しが配布される〉 議題２　救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について（検討） 委員長〈検討を行うに当たり事務局へ説明を求める〉 消防総務課長〈資料１救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について説明〉

	委員長〈意見を確認する〉 委員長　日勤救急隊の増員をするために採用を増やすということでよろしいでしょうか。 消防総務課長　そのとおりでございます。 　今回の諮問について了承をいただければ、市の職員定数の条例の改正を６月議会で図ることを考えております。 委員長　転院搬送に関して、医療機関から医療機関への転院ということで、これはいわゆるパブリックサービスの消防が行うべきことなんでしょうか。 　例えば､転院搬送を民間企業が行う場合もあるのですが､そのようなサービスを利用するということは検討しないのでしょうか。 次長　転院搬送については令和３年､４年に地域の MC 協議会の中で少しでも減らすような取り組みとして、転院搬送ガイドラインというものを立ち上げて、市内の医療機関に配布しており、転院搬送をされる方はあくまでも重症度、緊急度が高い方で病院が運ぶことができないという場合に、消防が協力するといった内容で取り交わさせていただいております。 　引き続き医療機関にできる限り民間救急で登録されている事業者を利用するような形でお願いしてまいります。 委員　転院搬送について、消防が転院搬送をする判断の基準を教えてほしいです。 次長　重要度、緊急度を鑑みて、医師の判断で消防機関に要請される形となっております。 委員　南分署に持ってくる車は新車を購入するのですか。

	次長　日勤救急隊を立ち上げる為に消防署の救急車を１０年更新のところ１年前倒しで更新して、今の車両を南分署に配置しようと考えております。 委員長　私個人の意見ですが、日勤救急隊を増員することは市民サービスの向上として当然いいことだと思うんですけど、一方で消防という公的なサービスですから、市民の突発的な救急需要の逼迫にならないように、転院搬送のガイドラインの遵守の再度の徹底ををしていただきたいと思います。 〈決を採る。賛成多数により決定する〉 委員長〈採決を採り、全者異議なしで原案のとおり答申することを決定し、暫時休憩とする〉 〈休憩〉 委員長　〈再開を宣言する〉 議題３　救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊について（答申） 委員長〈委員長から市長へ、救急需要の増加に伴う日勤救急隊の増隊についての答申書が読み上げられ、市長へ手渡される〉 市長〈挨拶〉 　ただいま委員長から答申をいただきました。この答申にいただいた意見につきましても、次の作業に進めていきたいと思っております。 　今後とも皆様方にはよろしくお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。 消防総務課長補佐 市長が公務により退席する旨説明する。 ＜市長退席＞

	議題４　令和７年度第１回消防委員会答申内容の進捗状況と課題について（報告） 委員長〈検討を行うに当たり事務局へ説明を求める〉 消防総務課長〈資料２令和７年度第１回消防委員会における答申内容の進捗状況と課題について説明〉 委員長〈意見を確認する〉 委員　消防団を募集しているのにもかかわらず令和７年度に定員数を減らしているのは何故ですか。 委員長　令和７年度の消防委員会で現状に合わせた定数にすることによって余計な費用負担を減らすということで、定員を変更することといたしました。 　それに対して、３月から４月になると団員数が大幅に減るのはどうしてですか。 消防総務課長補佐　３月から４月にかけて団員数が減るのは、４月から３月にかけて団員数が増えて行く一方で３月末で任期満了の方や自己都合で転出や転勤によって他の地域に行かなければならなくなり、退団する方が多くおります。 　４月に入団される方に対し、３月末で辞める方が多いため、３月よりも４月の方が団員数が減少しているということになります。 委員長　引き続き募集の努力をしていただきたいと思います。 　周知の方法ということで、特に若い方に対し何か新たに働きかけを行っていることはございますか。 消防総務課長補佐　学生消防団として実際大学生の方が入団されています。 　学生消防団になりうる方たちにお声がけをして募集をし

	ておりますが、なかなか実績に繋がらない状況となっております。 委員長　消防団活動が自分の身になること、あるいは就職に役立つ等のアピールをぜひ実施していただきたいと思います。 委員　学生消防団が出動された場合、出動証明書みたいなものを発行し、将来の就職活動に有利になるようにしてもらえればと思います。 消防総務課長　ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。 委員長〈決を採る。賛成多数により了承する〉 委員長〈事務局からの連絡事項がないか確認する〉 消防総務課長　本日答申をいただきましたので、６月の野田市議会へ、職員定数の条例の一部を改正する条例を上程させていただきます。 　事務局からは以上です。 委員長〈ほかに意見はないか確認する〉 〈意見なし〉 委員長〈閉会を宣言した〉 以上